

## 産地情勢 (2022.9.21)

米国産とうもろこし

品質は優良が52%で先週から更に1%悪化した。収穫は7%完了した。(9月20日)

2/3のとうもろこしが5月に作付けが完了したが平年より2-3週間遅れたため、もっとも暑い時期に受粉期を迎えることになった。(7月27日)

米国産大豆

品質は優良が55%と先週から更に更に1%悪化した。収穫は3%完了した。(9月20日)

ブラジル産とうもろこし

ブラジル国家食糧供給公社は2021/22年産の生産見通しを113.3百万トンに1.4百万トン減少させた。サリナ・コソの単収が乾燥気候の為に落ちた。(9月9日)

ブラジル中部が3月下旬から乾季入り5月上旬まで継続する。4-5月はサリナ・コソにとって受粉や結実に水分を要する時期であり、現在30-40%のサリナ・コソ地域が早魃の影響を受けているが、今後広がる可能性がある。(4月8日)

クロップ・カレンダー		作付期	受粉期	収穫期	割合	特徴
フルシーズン・コソ (夏作)		8-9月	11-12月	2-5月	22%	主に国内飼料需要向
サリナ・コソ (冬作)		1-3月上旬	4月	6-8月	76%	輸出の中心 大豆収穫後に作付

ブラジル産大豆

ブラジル国家食糧供給公社は2021/22年産の生産見通しを124百万トンに0.2百万トン減少させた。(7月12日)

南部の広範囲で乾燥が続いている。アグルーラル社は2021/22年産の生産見通しを122.8百万トンに引き下げた。アグリソース社は119.5百万トンと予想している。

今後まだ数百万トンの下方修正があり得る。(3月8日)

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロップ・カレンダー	9月-12月初め	1月	1月-4月

アルゼンチン産とうもろこし

収穫は19%（平年25%）まで進捗した。（4月20日）

先週は南部で連続して早霜の被害が起きたが、被害の程度は1~2週間経過しなければ判明しない。

ブエノスアイレス穀物取引所は、2021/22産の生産見通しを49百万トン、ロザリオ穀物取引所は47.5百万トンと予想している。

（4月5日）

夏作は受粉期の天候がラニーニャ現象で高温乾燥になる可能性があるので多くの農家は夏作より冬作の作付けを増やす意向。冬作の割合は55~60%。（12月21日）

肥料価格が高騰しており、投入量が減少すれば単収も下がる可能性がある。（11月16日）

備考	作付期	受粉期	収穫期
作付は2段階に分かれる。	9-11月始め	12-1月	3-4月
	12-1月	3-4月	6-7月

アルゼンチン産大豆

46%収穫（平年54%）3月以降複数回の早霜被害が発生し、単収減や収穫面積の減少が懸念される。（5月4日）

ブエノスアイレス穀物取引所は、2021/22産の生産見通しを42百万トンで据え置いているが南部の霜害で今後の下方修正を示唆している。ロザリオ穀物取引所は40.5百万トンで据え置いている。（4月5日）

アルゼンチンの大豆には33%の輸出関税がかかるため、作付面積は過去15年で最低となる見通し。（11月1日）

	作付期	着鞘期	収穫期
例年のクロープカレンダー	10月-1月中旬	2月	3-6月

以上、Soybean and Corn Advisor, Inc. Corn+soybean digest より

米国農務省生産量予測（9月12日）

とうもろこし

（百万トン）

	2020/21	2021/22	2022/23
米国（9-8月）	358.5	383.9	354.2
ブラジル（3-2月）	87.0	116.0	126.0
アルゼンチン（〃）	52.0	53.0	55.0

米国は2021/22年度はエタノール需要が20百万bu減少し期末在庫率が10.31%に増加した。

2022/23年度の単収は2.9bu/acre減少し172.5bu/acreとなり、生産量が365百万ブッシェル減

少した。需要は飼料・輸出各1億 bu、工業用が0.5億 bu 減少したが、期末在庫率は8.54%に1.02%減少した。

大豆

(百万トン)

	2020/21	2021/22	2022/23
米国 (9-8月)	114.8	120.7	119.2
ブラジル (2-1月)	139.5	126.0	149.0
アルゼンチン (4-3月)	46.2	44.0	51.0

米国は 2021/22 年度は輸出需要が 10 百万 bu 減少し期末在庫率が 5.02%に増加した。2022/23 年度の単収は 1.4bu/acre 減少し 50.5bu/acre となり、生産量が 153 百万ブッシェル減少した。需要は輸出が 70 百万ブッシェル、搾油が 20 百万 bu 減少したが、期末在庫率は 4.51%に 0.9%減少した。

\*北半球の穀物年度は 21/22 の場合、2021 年の月から始まるが南米は 2022 年の月から始まる。(USDA)